

職場復帰支援における キャリア再形成支援の実態調査 その2

－医療機関、EAP機関、地域センターヒアリング調査からの一考察－

- 知名 青子（障害者職業総合センター 上席研究員）
齋藤 友美枝・八木 繁美・宮澤 史穂・浅賀 英彦・堂井 康宏
（障害者職業総合センター）

問題意識

fact

職場復帰支援（気分障害・高次脳機能障害）を経た長期予後における、
本人のキャリアに対する支援の実態が明らかではない。

Q

企業による職場復帰者へのキャリア形成支援の実際とは？

+ view

職リハの復職支援において求められるキャリア形成支援とは？

研究目的

What

職場復帰者（気分障害・高次脳機能障害）におけるキャリア形成支援について、企業（支援機関）の取組みや本人の視点からその概要を明らかにする。

How

以下①～③の調査を通じて、What の解明を目指す。

- ① 医療機関及び地域センター※へのアンケート調査（発表その1）
- ② 医療機関・リハビリテーション機関・地域センター・EAP機関へのヒアリング調査（発表その2）
- ③ 企業・本人へのインタビュー調査（現在実施中）

※地域センター：地域障害者職業センター（本発表では「地域センター」とする）

方法

調査目的

- ①復職支援実施機関におけるキャリア再形成支援の実際
- ②キャリア再形成支援に対する担当職員の考えを把握すること

対象

- ①医療機関 4 件（「日本うつ病リワーク協会」の会員含む）
- ②リハビリテーション機関 2 件
- ③EAP機関 2 件
- ④地域センター 4 件

調査方法

半構造化面接（オンライン）

調査内容

利用者の障害内訳、実施している支援・工夫点、利用者の「キャリアの見つめ直し」※に影響を与えた事例、「キャリアの見つめ直し」に影響を与えた支援や働きかけ等

※「キャリアの見つめ直し」＝「仕事観・やりがい・人生・興味といった自分の価値観の振返り」

対象機関概要

		復職支援を実施した対象利用者の障害			
	対象機関	気分障害	統合失調症	発達障害	高次脳機能障害
医療機関	Aクリニック	○	○	○	
	B病院	○		○	
	C診療所	○		○	
	Dリハビリテーション病院				○
リハセンター	Eリハビリテーションセンター	○	○	○	○
地域センター	F障害者職業センター				○
	G障害者職業センター	○	○	○	○
	H障害者職業センター	○		○	○
	I障害者職業センター	○	○	○	
EAP	J_EAP機関	○		△	
	K_EAP機関	○		△	

○ = 該当 △ = おそらく該当

- ※R6年1月～2月実施
- ※事前のアンケートにおいて、復職支援を実施した対象利用者の障害分類について回答を得た。
- ※インタビュー時には気分障害（発達障害含む）高次脳機能障害のある者の復職支援を通じたキャリアに対する考えの変化についてうかがった。

結果（概要） キャリア形成支援に関わる取組や視点 （気分障害）

カテゴリ		関連の取組・視点（一例）
医療機関	本人の気づき	「キャリアアップが仕事の目的だったが、 <u>リワークの様々なプログラムを通じて</u> 気持ちが行ったり来たり。最終的に家族を養うだけの給料をもらい、プライベートを大事にしたいと思うように」
	キャリア観に影響を与えた支援	「 <u>ACT</u> を行い、今後自分が大事にしていきたいものは何かを再考」
地域センター	本人の気づき	「 <u>グループワークや講座以外のマルチタスク</u> で職場の疑似体験をやり、『少し手放したりお願いをしなければ』と気づいた」
	キャリア観に影響を与えた支援	「 <u>キャリア講習</u> を通じて、仕事を切り離した時間を持てる働き方をしなければならぬという意識に変化」
EAP機関	本人の気づき・キャリア観に影響を与えた支援	「 <u>キャリアセミナー・ライフキャリアセミナー</u> を通じて、退職後の生活の大切さに気付き、社内の処遇についての焦燥感・劣等感から解放された」

結果（概要） キャリア形成支援に関わる取組や視点

（高次脳機能障害）

カテゴリ		関連の取組・視点（一例）
リハ医療 センター・ 関係機関	本人の気づき	「 <u>定着支援</u> の中ではマネージャー職等の話は出てこなくなり、子が独立するまで健康で働き続けられればいいという話（になった）」
	キャリア観に影響を与えた支援	「 <u>リハビリ出勤</u> が大きかったと思います」 「 <u>戻る職場での訓練の体験をしたことは大きい</u> 」
地域センター	補完手段獲得の支援	「苦手なところを少しでも補う、補完手段の習得を準備支援の目標とした」
	自己理解を通じた内的キャリアの変化	「できれば設計に戻りたいという希望.....（中略）、作業をやる中で文字の識別が難しかったり、注意障害のあることも認識」 「現実的にできる仕事で戻るという納得感が高まっていった」